

平成 23 年 10 月 5 日

## 福大生、ルーマニア政府より招待される ～ルーマニア研修報告～

ルーマニア政府による「ルーマニア・日本 ユースプロジェクト」がこのほど開催され、平成 23 年 9 月 13 日から 9 月 27 日まで、ルーマニアに福島大学生 15 名(女性 11 名、男性 4 名)と引率職員 2 名が招待された(途中から担当副学長も同行)。この研修旅行は、ルーマニアのバセスク大統領、フネリウ教育・研究・青年・スポーツ大臣からのイニシアチブにより、東日本大震災の被災地域から青年をルーマニアに招待するという趣旨の下、駐ルーマニア日本大使館および日本ルーマニア協会(会長羽田孜元内閣総理大臣)のご尽力のもと実施された。今回福島大学の学生が参加をすることになったのは、津波、地震、原子力事故という 3 つの災害を経験していることが重視されてのことである。

プログラムはルーマニア各地で行われ、主に民間の NGO 団体や、学生との交流が企画された。まず学生は黒海地域を訪れ、横浜市と姉妹都市関係を持つコンスタンサ市で NGO との交流を行い、さらには海軍博物館、考古学博物館等を見学した。次に訪れた首都ブカレストでは、政府施設としてはペンタゴンに次ぐ世界 2 位の大きさを誇るルーマニア議会議事堂「国民の館」などを訪れ、国立ブカレスト大学の日本語学部の学生と交流を行った。最後に訪れた山岳地域では、世界遺産候補でもあり武蔵野市と姉妹都市関係を持つブラショブ市を訪れ、NGO や日本語を学習している学生との交流を行った。そして、ドラキュラ城として有名なブラン城や、ルーマニア王室の夏の離宮として建てられたペレス城等を訪れ、ルーマニアの多彩な歴史を実感した。

欧州連合への加盟を機に経済的な躍進を目指しているルーマニアの、若い世代が持つ未来への活力は、これから地域の再生を目指す福島大学の学生にとって強い刺激となった。また、ルーマニア各地を訪問する中で、戦時中の空爆や、1977 年のブカレスト大地震などの爪痕を目の当たりにする事で、ルーマニアが大きな困難を乗り越えてきた国である事を認識できた。この事は、ルーマニアに対して大きな連帯の念を抱かせると同時に、被災地復興への希望につながった。さらには、ブカレスト滞在中には、駐ルーマニア日本大使公邸にて公式晩餐会に招待され、震災後に様々な支援をいただいたルーマニアの関係者に対して謝意を表明する機会が設けられた。ルーマニア人が持つ日本への情愛の思いや、復興を共に願う絆の深さに、学生全員が胸をうたれた。

今回の研修を通して、参加学生 1 人 1 人が日本とルーマニアの親善大使として今後も両国交流の更なる発展と深化に貢献し、ルーマニアで得た貴重な経験を、新たな勉学活動の原動力とする事が期待される。

(お問い合わせ先)  
学生課国際担当マクマイケル  
電話：024-548-5346

## 参加学生の声

### ルーマニアの印象について

行く前は怖い人が多いとか野犬が多いとかでとにかく良いイメージはありませんでした。それはおそらく、情報の不足によるものでした。しかし、行ったあとはかなりの好印象です。野犬は少ないですし、怖い人も思っていたほどいませんでした。まさに百聞は一見に如かずです。(千葉)

### 今回の研修旅行で学んだこと

ルーマニアでの交流を通して、自分の至らない所を痛感しました。特に言語面では、大使館主催の公式晩餐会でお話をした外交官の方々や、通訳の方を見ていて私もっと、語学力を身につけたいと心から思うようになりました。(遠藤)

### 参加しようと思った理由

広告を見た時から魅力的な体験であると思っており、また、説明会の時、震災も絡んでるという話であったので、私は震災の時は何もできなかったのでこの機会に自分の体験が役に立つ時があるかなと思い応募を決心しました。(鹿又)

### 福島はどう見られているか

多くの人と交流しましたが、原発事故の福島より、私達を日本人として接してくれたような気がします。交流ではあまりネガティブな話は出ず、むしろ日本人として興味を持ってきていました。それは震災に興味が無いというわけではなく、震災については励まみや応援の言葉ももらいました。ルーマニアの方からは、元気というエールをもらっていた気がします。(鹿又)

私の感じた事は、福島の原発事故等がそれほど大きな影響はないという事でした。というのも日本でいう風評被害のようなものはあまり感じませんでした。むしろ、皆さんがそれについて心配してくれたのが嬉しかったです。駐ルーマニア雨宮全権日本大使が御挨拶の中で「支援をたくさん受けた日本は海外にたくさんの友人がいたことを思い知った」とおっしゃっていましたが、あの一言はまさにこれを指すのだと思います。逆にメディアは、ネガティブな報道をしたがっていました。(千葉)

メディアの方に正しい情報が伝わっていないという印象を受けました。記者にインタビューを受けた際、いまだに瓦礫だらけだと勘違いしていた記者がいらっしゃいました。(遠藤)

### これからの福島

南相馬市では今月には学校再開の方針が出されたりと、現在福島はマイナスの方向へ進んでいないと感じます。原発事故として世界で有名になってしまった福島ですが、むしろ、良くも悪くも世界に広まった福島として、世界に対し福島を発信できるのチャンスでもあると思います。少しでも早く原発事故を収束し、少しでも多くの良い部分の福島を世界に知ってもらって注目される日がくると私は思っています。(鹿又)

# ルーマニア研修

平成23年9月13日～27日



# 9月 15日

## 【コンスタンサ市】 青年スポーツ局コンスタンサ支部訪問



# 9月16日

## 【ロンドン市】海軍博物館見学、NGOとの懇談会



# 9月 16日

## 【ロンドンサ市】 水族館、パン工場等見学



# 9月 17日

## 【ロスタンサ市】考古学博物館、モスク、旧カジノ 見学



# 9月18日

## 【ブカレスト市】国会議事堂見学、市内散策



# 9月 19日

## 【ブカレスト市】 青年スポーツ局訪問、民族博物館見学



# 9月20日 【ブカレスト市】ブカレスト大学 学長懇談会



# 9月20日

## 【ブカレスト市】ブカレスト大学 学生交流 青年スポーツ局主催 夕食会(夜)



# 9月21日

## 【ブカレスト】ドミテリエ・キャテミール私立大学 視察、学生交流



# 9月21日

## 【ブカレスト市】駐ルーマニア日本大使館主催 公式晩餐会



# 9月 23日

## 【ブラショブ市】 ブラショブ市役所訪問



# 9月23日

## 【ブラシヨブ市】NGOとの懇談会、 武蔵野・ブラシヨブセンター 学生交流



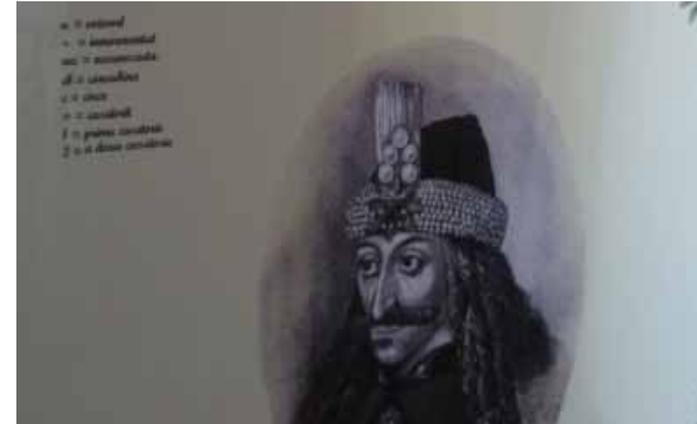
# 9月 24日

## 【シニヤ市】ペレス城見学 お祭り見学



9月 25日

【ブラン町】 ブラン城見学、ブカレスト移動



# 9月 25日

## 【ボカレスト】ヴォイクレス氏演奏会、ナイ贈呈

